

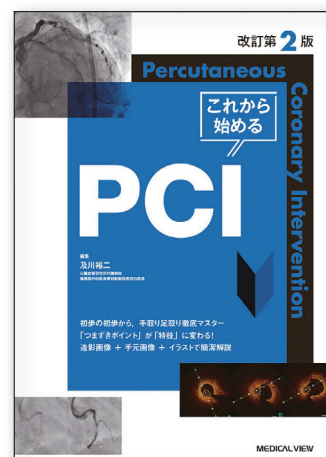
改訂第2版 これから始める PCI

編集：及川 裕二（心臓血管研究所循環器内科部長兼冠動脈疾患担当部長）

A4判・292頁・オールカラー・イラスト200点・写真700点

定価（本体6,500円＋税）

2019年9月 メジカルビュー社刊 ISBN978-4-7583-1959-1



評者 中村 正人（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科教授）

この度『これから始める PCI 改訂第2版』が発刊されることとなった。前版が好評であったことを受けての6年ぶりの今回の改訂では、この間に使用可能となったエキシマレーザー、DCA、ダイヤモンドバック、DCBなどの新しいデバイスに関する記載は当然として、異物除去、IVUSスタック、ロータブレードスタックなど日常臨床で遭遇しえる重要な合併症とその対策が具体的に示されている。また、補助診断として用いられるイメージングやプレッシャーワイヤーに関する記載も追加されている。前版に引き続き「わかりやすさ」が基本方針となっている。それはページをめくってみると一目瞭然である。各ページの半分を画像が占め、取り入れられている画像は、シネ画像のみでなく、手元画像、カラーで作成されたイラスト図など、見て学ぶ解説書とすべくさまざまな工夫が施されている。

その特徴は、特に「さまざまなテクニック」や「知っておくべき合併症およびその回避法」の項に表れている。これらは、文章では説明しがたく、また理解

しにくい内容であり、本書の真骨頂となっている。もう一つの特徴は本書がA4サイズで通常よりも大きめとなっていることにある。このサイズを採用することにより、文字を小さくすることなく、ページをめくることなく各項建ての内容が理解できる。各章の冒頭にポイントとして要約が記載されており、用語の解説は文字の色を変え枠で囲まれて表示、ピットフォールに該当する事項は「ここに注意」または「One Point Advice」として黄色や紫の蛍光色で記載されている。これらは、それぞれページ内の欄外に文字のサイズを変えることなく、目につくように配置されている。説明の内容は簡潔であり、必要に応じてエビデンスも述べられている。このように、全体を通して読者の目線で本書は構成されており、PCIの初心者のみならず、メディカルスタッフにもお勧めしたいPCIの解説書となっている。見ただけで理解した気分になるが、頭の整理のためにもぜひ一度通読いただきたい。おすすめの一冊である。